



あかしあ

第39号

平成29年8月21日

校長 伊藤千秋 Ito Chiaki

2学期スタート

30日間の夏休みが終わり、学校に子どもたちが帰ってきました。静まりかえっていた学校に、活気が戻りました。子どもたちは、夏休みでしかできない貴重な体験をたくさんして、心と体に多くのエネルギーを蓄えたことと思います。



8月21日現在、小学部114名、中学部22名、合計136名で2学期のスタートです。2学期は、「天高く馬肥ゆる秋、食欲の秋、スポーツの秋、読書の秋」等に表現されるように、心にも体にも多くの実りが期待できる豊かな季節にあたります。学校では、「修学旅行」「校外学習」「遠足」「ウインターコンサート」等、大きな行事が計画されています。子どもたちにとって実りの多い学期となるように、一人一人がしっかりとした目標をもち、取り組むことができるように支援していきたいと思ひます。

また、始業式では、次のような話をしました。「どんな場面、いつのときでも遅いとか手遅れなんてことはありません。忘れてはいけないことは、『誰のためでもなく自分自身のため』です。悔いの残らないよう努力を続けてほしいと思ひます。」と。「継続は力なり」とも併せ、日々努力をして、学校生活を送ってほしいと思ひます。

2学期もどうぞよろしくお願ひいたします。

なかよし集会

「輝けみんなの笑顔、つなげ絆の輪」をテーマに、7月7日（金）に児童生徒会が中心となってなかよし集会が行われました。幼稚園から中学部3年生までの子どもたちが、14班の縦割りグループに分かれて、ゲームや先生クイズをして楽しみました。この集会では、幼稚園から中学部までの子どもたち全員がふれあい、みんなで一つのことを行う活動を通して、発達段階に応じた積極的な交流をすることを目的としています。



ゲームでは神経衰弱を行いました。上級生の子がルールを教え、下級生の子がカードを取ることができること、上級生の子も一緒になって喜ぶ姿が印象的

【ゲームの説明をする児童生徒会役員】【神経衰弱を楽しむ子どもたち】でした。また、先生に関する○×クイズでは、班長が班の子の意見をとりまとめ、「○」や「×」の札を上げ、正解すると班の全員が跳び上がって喜んでいる姿も、とても微笑ましく思ひました。このように、ゲームやクイズを協力して行うことで、いつの間にか子どもたちの心が一つ

大連日本人学校ホームページ <http://www.japanda.cn/> TEL8817-4901 FAX8817-4984



になりました。
そして、友達のことを思いやり、助け合って活動する姿が見られました。

最後に、児童生徒会役員から、「多くの友達との絆を深めるき

っかけとなったこ

【先生クイズに盛り上がる様子】 【小さい子も優しく誘導する班長】
ことと思います。もっと絆を深めるために、廊下などで会ったら声を掛けてみましょう。」
という挨拶があり、この集会を結んでいました。

お知らせとお願い

本校では、学期ごとに緊急連絡網テストや避難訓練（不審者）を計画・実施しています。いつ何時起こるか分からないテロや災害への実践的な備えとして実施しています。訓練のための訓練で終わらないように、今後も様々な想定での訓練を重ねて参ります。1学期よりお願いしております、来校時の入校証の提示についても、安全を第一に考えた取り組みですので、ご協力をお願いいたします。

